

2015アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [京都教育大学附属桃山中学校] 担当教諭名[大栗 真佐美・中川 竜洋] (1年1組 40名)

交流相手国 [インドネシア]

海外学校名 [SMP Islam Amalina] 担当教諭名[Nia Syahrani]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教 科	単 元 名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	壁画制作	20
	美術	絵の構想を考える	4
	英語	手紙の書き方、英語で自国の文化について紹介する、クリスマスカード、グリーティングカード等	7
	社会	世界の国々を絵で表してみよう	6
	国語	外国の物語(ワヤン物語)	1
	学級活動	スカイプ活動	2
	家庭科	料理と食文化	4

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	お互いの国の文化を伝えよう
絵に込めたメッセージ	日本の文化を伝えるために、クラスで話し合いデザインを決定しました。 日本の代表的な人や建物として清少納言、伏見大社の鳥居・狐、金閣寺、遊びとしてこまや羽子板を描いて日本を表しました。日本文化を知って下さい。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
一つの壁画を全員で制作することにより、インドネシア(海外)との繋がり、クラスとの繋がり、学年との繋がりをより深く実感出来た。	英語でたくさんのことを伝えたかったが書き切れなかった。(個々の英語力とフォーラムの時間の問題)

■アートマイルに取り組む前と比べて相手国や世界に対しての意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
インドネシアだけではなく、海外の出来事について注意深く考えるようになった。また、多文化共生について自分の考えを持つことができた。	生徒に対して、海外の国の文化や学校教育などについて話をし、多文化共生を考える機会を持てるような教育実践を考えるようになった。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活 動 内 容	児童生徒の反応	実施教科等
自己紹介	8月 9月 ～ 3月	・教師間はメールやフォーラムを使って交流。 ・生徒は2人ずつ全ての生徒がフォーラムで自己紹介をした。	・英語で自己紹介をするのは楽しそうであったが、言葉が出ずなかなか難しそうであった。	英語 学級活動
テーマ学習	8月 9月	・相手国と自国について自分の興味のあることについて調べ学び、レポートを作成。(社会) ・伝えたい内容を考える。(美術) ・相手国の食文化を知る。(家庭科) ・相手国の文化(ワヤン)について知り、物語を読む。 ・テーマについてみんなで交流する。	・相手国についてそれぞれ生徒について調べたことや伝えたい内容も違い、様々な作品ができ、鑑賞できていた。 ・二つの国の料理を作り、相手国の食文化を知った。 ・物語が日本のものと似ていることがあったことを知った。 ・スカイプでテーマについて交流して、海外とつながることで親近感がわいたようであった。	社会 美術 家庭科 国語 学級活動
構図決定	9月	・クラスで原画を考え、ホワイトボードにレイアウトを考え、写真を撮る。 ・それぞれが考えた構図をあわせて、一つの作品とする。	・自分の描いて来た作品を持ち寄り、一番良いものにしていこうと考えを出し合い交流していた。	学級活動 総合学習
壁画制作	10月	・デザインが決まったので下書きを描き、そのあとでその下書きをもとにキャンパスに描いた。 ・模造紙に相手国が描くであろう作品を想像して描いた。	・日本側の作品と、海外側の作品を20人ずつに分けて作品に全員で関わることで、生徒の交流が見られた。	総合学習
鑑賞・振り返り	3月	・英語の研究発表、本校の研究発表、学校説明会などで展示した。 ・現在は学校に展示している。	・毎日鑑賞することができる場所に作品を展示したことで、自分達の作品を誇れるものと思っているようであった。	学級活動

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	A	4	自分の住む地域や日本という国について考えるようになり、日本を再認識できた。
異文化の理解	A	5	各教科でインドネシアについて学ぶ機会を持つことができ、多文化共生を考えるようになった。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	A	5	帰国学級の生徒に英語を教えてもらったり、英語の得意なクラスメートに相談したり、自分の伝えたいことをどういえば伝わるのか話し合うことが出来た。
情報活用能力 (情報収集・発信)	A	5	スカイプで交流するときに自分の伝えたいことを調べ、どうやったら相手に伝わるのかを深く考えた。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	A	5	スカイプではグループで交流内容を決めたり、デザインを考えたりできた。手紙やクリスマスカードを送ることで、相手を思いながら文章や絵にすることが出来た。
協働する力 (役割分担・協力)	A	5	文化祭でのプレゼンテーションが協力してできた。
学習を追求する意欲	B	4	インドネシアのその他の文化や日本について再認識した。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	A	4	絵を得意とする生徒が中心になって、話し合い1つのデザインにまとめた。また、インドネシア側がどのような絵を描いてくれるかを想像し模造紙に描いた作品も制作できた。
作品を鑑賞する力	B	4	作品の一つ一つを鑑賞し、それぞれの作品について自分の感想を持てた。